

言葉の旅。スペイン語のバリエーション（10）

チリ

かつて、ドミニカ共和国の人文学者 Pedro Henríquez Ureña はラテンアメリカのスペイン語を言語的特徴と先住民言語の影響から次の5地域に分類しました¹。

- カリブ海地域: キューバ, ドミニカ共和国, プエルトリコとベネズエラ・コロンビアのカリブ海岸
- 北・中米地域: アメリカ合衆国南西部, メキシコ, 中米地域
- アンデス地域: ベネズエラ・コロンビアのアンデス地域, エクアドル, ペルー, ボリビア, チリ北部
- ラプラタ地域: アルゼンチン, ウルグアイ, パラグアイ
- チリ

これを次のように説明しています。

El carácter de cada una de las cinco zonas se debe a la proximidad geográfica de las regiones que las componen, los lazos políticos y culturales que las unieron durante la dominación española y el contacto con una lengua indígena principal.

「この5地帯のそれぞれの性格はそれを構成する地域の地理的な近接性、スペイン支配時代の政治的・文化的つながり、および主要な先住民言語との接触に由来するものである」

この分類によればチリは一国で広大なスペイン語圏の中で独立した1地域を形成しています。これは北にアタカマ砂漠(Desierto de Atacama), 東にアンデス山脈(Los Andes), 西に太平洋(Océano Pacífico), 南にドレーク海峡(Estrecho de Drake)を挟んで南極大陸(Antártida)に囲まれ、周辺の諸国との交流が困難であったため

¹ Pedro Henríquez Ureña, "Observaciones sobre el español en América", *Revista de Filología Española*, 8, 1921.

です。また、先住民言語のアラウカノ語(araucano)が現在のチリの領域に限られていたことも別の要因として挙げられます²。

さて、私たち(東京外国語大学の高垣敏博さんと上智大学のアントニオ・ルイス・ティノコさんと私)がチリの首都サンチャゴ市を訪れたのは去年(1999年)の8月で、「第12回ラテンアメリカ言語学文献学国際学会」(XII Congreso Internacional de la Asociación de Lingüística y Filología de la América Latina)に出席するためでした。この学会は、「スペイン言語学会」(Sociedad Española de Lingüística)と並ぶ非常に大きな学会でスペイン語圏の各地で3年ごとに開催されます。今回は8月9日から14日までの6日間、チリ・サンチャゴ大学(Universidad de Santiago de Chile)で行われました。



【写真1】サンチャゴ市とアンデス山脈

8月といっても南米は真冬なのでコートが必要です。噂に聞いていたスモッグもなく、冬の晴れた青空の下、市の西側に広がる冠雪のアンデス山脈が方角がわからないよそ者にとって格好の目印になりました。会場のサンチャゴ大学にはいくつものパティオがあり、参加者たちは日向で熱いコーヒーをすすりながら談笑を楽しんでいました。

会話の輪に入れてもらうと、地元チリの先生方の話し方に独特の発音があることがわかります。ひとつは[tr]の音で、[r]の部分が無声の摩擦音になり、まるで英語の話者がスペイン語を話しているかのような感じです。たとえば、tres「3」、cuatro

² cf. Eleanor Greet Cotton and John M. Sharp. *Spanish in the Americas*, Georgetown University Press, 1988, chap. 9.

「4」、otro「別の」などが、英語の tree「木」、の[tr]に近くなります。もう一つは、mujer「女性」、jefe「ボス」などの je が「へ」ではなく、「ヒエ」のように聞こえます。これらは、かつて先住民の言語であるアラウカノ(araucano)語の影響によるものだと解釈されたこともありますが、現在では次のような見解が一般的です。はじめに[r]の音について、スペイン語学者のラファエル・ラペサさんの説明を読みましょう³。

Más tarde se ha demostrado que la conversión de /r/ en fricativa, señalada como araucanismo es un proceso de relajación espontánea que se registra en casi toda América y en Navarra, Aragón, Álava y Rioja.

「その後、アラウカノ語起源とされていた/r/の摩擦音化は、弛緩の自然なプロセスであってアメリカ大陸のほぼ全域、(スペインの)ナバラ、アラゴン、アラバ、リオハでも記録されていることが明らかになった」

そして、チリの je の発音については、"(...) representa un grado intermedio en la evolución de la /s/ prepalatal del español antiguo hasta sus resultados modernos velares o faríngeos." 「古スペイン語の前部硬口蓋音が現在の軟口蓋音または咽頭音に変わる途中の段階の音を示している」と述べています。このように、一つは地理的な理由によって、もう一つは歴史的な理由によって先住民言語起源説が否定されました。

音声学

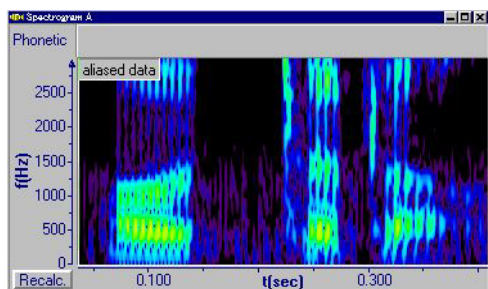
紙の上で発音(音声)のことをお話するのはとても困難です。先に、チリの[r]の音を英語の音(tree)と比べたり、je の音を日本語(カタカナ)の「ヒエ」になぞったりしたのですが、これでは不正確なので、チリのスペイン語学者マクス・エテベリアさん(Max Echeverría)にお願いして、音声のビデオファイルを送っていただき、これをインターネットで聞こえるように、そして見えるようにリンクしました。ご関心のある方は次の URL にアクセスしてください。

<http://gamp.c.u-tokyo.ac.jp/~ueda/tabi/>

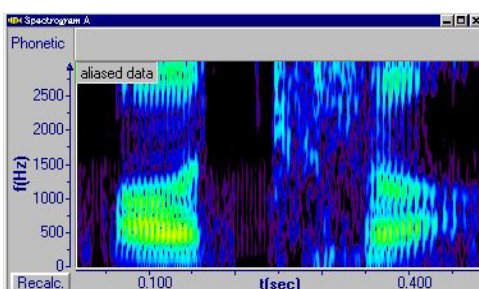
大学や研究所で発音のことを学ぶのが音声学の授業です。細かな音声の違いを

³ Rafael Lapesa, *Historia de la lengua española*, Madrid, Gredos, cap. 17, 127.4.

聞き分けたり,それを真似して発音したり,正確に記述する練習をします。また,音声を物理的に分析し,様々な現象を研究することもあります。次の図は,コンピュータを使った音波の分析例です(SIL Speech Analyzer による)。



【図-1】 otro: 一般のはじき音の[r]



【図-2】 otro: チリの摩擦音の[r]

左の【図-1】が一般の[otro]の発音を示し,右の【図-2】がチリのバリエーションを示しています。両方の図で縦に黒く太くなっている部分が[t]の発音部分です。その右に【図-1】では,はじき音[r]を示す縦の黒い細線が見えますが,【図-2】では摩擦音のノイズを示す太い縞模様を確かめることができます。

言葉の広がり...「カンニングペーパー」

サンチャゴ大学の学会発表は午前だけなので,午後は街を観察したり,現地の人々に会って言葉を聞いたりしました。また会場でも学生と話をする機会があったので,次のような「学校(学生)用語」を教えてもらいました。スペインの用語と比べてみましょう。



【写真2】サンチャゴ大学の中庭

意味	チリ	スペイン
(大学を)卒業する	egresar	graduarse, licenciarse
勉強家	mateo	empollón
落第させる	rajar	suspender, catear
おべっか使い	patero	pelota
(授業を)サボる	hacer la cimarra	hacer novillos
カンニングペーパー	torpedo	chuleta

「カンニングペーパー」はスペインとベネズエラでは **chuleta** ([地図] では **Ch**), チリでは **torpedo** (**T**) と言いますが, 他にもキューバ, プエルトリコ, グアテマラの **chivo** (**Chv**), プエルトリコの **droga, droguita** (**Dr**), **bate** (**Bt**), **nota** (**N**), メキシコ, エルサルバドル, ホンジュラス, ニカラグアの **acordeón** (**A**), メキシコの **chafa** (**Chf**), ホンジュラスの **chepe** (**Chp**), キューバとコスタリカの **forro** (**F**), エルサルバドル, ニカラグアの **copia** (**Cp**), パナマの **batería** (**B**), コロンビアの **pastel** (**P**), エクアドルの **polla** (**Po**), ペルーの **plagio** (**Pl**) と **compromido** (**Cm**), ボリビアの **chanchullo** (**Chch**), パラグアイの **copiatini** (**Cpi**), ウルグアイの **ferrocarril** (**Fc**) と **trencito** (**Tr**), アルゼンチンの **machete** (**M**) などがあります。



【地図】「カンニングペーパー」

【課題-10a】Lipski (1996)を読み, Chile のスペイン語の音韻, 文法, 語彙の特徴について調べなさい。「[tr]が破擦音に近い」(p.224)と述べていることについて, [t]や [ts]などの破擦音と比較して考察しなさい。

【課題-10b】Lapesa (1981, 邦訳 2004)17章「アメリカ・スペイン語」の127「先住民諸語とその影響」を読み, アメリカ・スペイン語の先住民言語基層説について調べなさい。それが否定されるとき条件について考察しなさい。

【課題-10c】「カンニングペーパー」を意味するスペイン語の語形の地域的語彙バリエーションについて調べなさい。

* 参考: Varilex: <http://gamp.c.u-tokyo.ac.jp/~ueda/varilex/>